

2024年度秋季関東大学バレーボールリーグ戦 大会運営ガイドライン

I. はじめに

本ガイドラインは新型コロナウイルスなどの感染症拡大後における大会開催の際の取り組みについてまとめたものです。大会会場だけでなく日常生活や練習の段階から十分注意する必要があります。参加者や関係者の安全を最優先に大会に運営して頂くようお願い致します。

本資料は、大会参加者及び大会運営者は熟読するようにしてください。

また、新型コロナウイルスなどの流行性疾患に対する対応は変化しますので、本ガイドラインも適宜更新される可能性があります。

II. 大会の開催について

【大会開催・中止判断について】

大会開催条件

- ・参加チームのエントリーが正規にされていること。
- ・参加チーム及び会場で感染症対策が十分に行われていること。
- ・運営代表者及び参加者が本ガイドラインを遵守していること。

大会中止判断

- ・学連役員及び危機管理委員会が続行不可と判断した場合は中止とする。

【大会参加について】

- ・試合当日において、流行性疾患（新型コロナやインフルエンザ等）の蔓延により出場が困難と判断した場合は報告窓口へ報告の上、無理に参加しないこととする。
- ・また大学から出場停止の指示がでている場合も参加しないこととする。

III. 大会関係者の新型コロナウイルス感染症対策について

(1) 関係者全体

主要な方針

- ① 体調不良者は参加しない
- ② 換気を重視し、接触感染対策は必要最小限とする。

【大会期間時の対応】

9月1日(土)～11月3日(日)(大会期間中)の体調不良者、また感染症発症者（新型コロナウイルス、インフルエンザ等）がチームに複数名（2名以上）出た際、下記報告窓口へ速やかに報告すること

【会場入場時について】

- マスクの着用は任意とする。
- 動線に従って移動すること。
- ※移動経路については運営者からの指示に従うこと。

(2) チーム関係者

【会場入場者の制限について】

- ・当日会場に入る事が出来るチーム関係者に制限を設けない。
- ・他チームのデータ収集について、制限を設けない。

【入場・退場について】

- ・第1試合の入場時刻のみ設定し、その他の入場時刻、退場時刻は設定しない。
- ・会場によっては、入場時刻、退場時刻を設ける場合がある。

【試合時の注意事項】

- 全員、マスクの着用は任意とする。
- 控え室及びギャラリーは、各チーム割り当てられた場所を使用すること。
※それ以外の場所を使用したい時は、学連に相談すること。
- ・ゴミは会場に捨てずに、各自で必ず持ち帰ること。
※鼻水、唾液などが付いたゴミを処理した後は、手洗い・消毒を行うこと。
- フロア開放前のウォーミングアップは、各大学で可能な範囲で行うこと。
※外で行う場合、声出しは禁止とする。
※指定された禁止場所では、ウォーミングアップを行ってはならない。

【控え室、更衣室等の使用方法】

- ・密集しないように、各チーム少人数で使用すること。
- ・ゴミは各自で持ち帰ること。

【競技上の注意事項】

- ・待機場所は必ずギャラリーの指定された場所か、指定された控え室で待機すること。
- ・試合開始時の挨拶は、ネット際で行うこと。
- ・フロア開放時は、入り口の混雑を防ぐこと。
《第2試合目以降のチーム》
 - ・第2試合目以降のチームは速やかに待機場所へ向かうこと。

【試合終了時の注意事項】

- ・終了後、速やかにフロアから退場すること。
- ・試合終了後、残って試合を観覧する場合は、指定された席で座って観覧すること。

- ・ゴミは会場に捨てず、各自で必ず持ち帰ること。

(3) 企業関係者

- ・入場時刻については第1試合開始30分前からとする。
- ・受付にて、IDを受け取り会場へ入ること。
- ・指定された席で試合を観覧すること。

(4) 報道関係者

- ・受付にて、IDを受け取り会場へ入ること。
- ・入場時刻については第1試合開始30分前からとする。
- ・インタビューをする際は、十分な距離を保ち行うこと。

(5) 審判員

- ・ミーティングの時間は試合開始時刻の1時間前とする。
- ・可能な限り、主審・副審を派遣して行うが、派遣が難しい場合は、補助役員に該当する。
チームの有資格者が審判を担当することもある。
 - 主審・副審 → マスクの着用は任意とする。
 - ラインジャッジ → 各大学がフラッグを持参する。
 - スコアラー → 各大学で筆記用具（青ペン・定規・修正・シャーペン・消しゴム等）を持参すること。
 - ボールリトリバー → 手袋の着用は不要。
 - クイックモッパー → 手袋の着用は不要。

(6) 観客

- ・マスクの着用は任意とする。
- ・各会場により観客の有無は検討する。
- ・会場内では、受付で渡されたIDを身に付けること。
- ・会場内では、チーム関係者と長時間での接触は控える。

IV. 運営者の対策

(1) 会場入場及び受付時

- ・入り口の常時開放を積極的に行い、換気に努める
- ・第2試合目以降のチームが入場し始めた際、控え場所（待機場所）の声掛けを行う。

(2) 競技運営時

- ・試合開始時の挨拶は、ネット際で行うこと。

- ・ウォーミングアップエリアは、会場によって異なるが、最低でも16㎡以上の空間を作ることとする。
(控え選手が密集しないようにする為)

(4) 競技終了後

- ・試合終了後、速やかに次の試合についてのアナウンスを行う
- ・使用した消毒用具・ビニール手袋等をまとめ、別途ゴミ袋に捨てる。

(5) 会場の環境整備

- ・会場の動線を作成し、選手関係者と観客が混在しないように心がける。無観客の場合も動線を作成する。

参考文献

●公益財団法人日本バレーボール協会

「バレーボール競技に関わる大会等の再開時のガイドライン」

https://www.jva.or.jp/pdf/covid19_guide_JVA2020.pdf

「大会運営ガイドライン」

●独立行政法人日本スポーツ振興センター ハイパフォーマンススポーツセンター

「新型コロナウイルス感染症対策としてのスポーツ活動再開ガイドライン」

<https://www.jpnsport.go.jp/hpsc/Portals/0/resources/hpsc/katudousaikaiguide.pdf>

●一般社団法人日本バレーボールリーグ機構

「新型コロナウイルス対策ガイドライン」

https://www.vleague.jp/common/pdf/covid19_guideline_9th_20210210.pdf

●一般社団法人Tリーグ

「Tリーグ新型コロナウイルス感染症対策ガイドライン」

<https://saas.actibookone.com/content/detail?param=eyJjb250ZW50TnVtIjo4MDk2OX0=&detailFlg=1&pNo=1>